

石山・芸術の森地域 **芸術の森部会 ニュース**

石山・芸術の森地域では、平成 26 年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、それ以降、地域の 4 小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。また、平成 27 年度からは「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～ このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています ～

本号では新設校の校名の検討状況をお知らせします。今回の部会では、公募いただいた校名案の中から、校名候補の検討を行いました。ぜひ、ご一読ください。

**第 13 回芸術の森部会
について**

11 月 5 日（月曜日）午後 6 時から、芸術の森地区会館（芸術の森地区まちづくりセンター）で第 13 回芸術の森部会を開催し、新設校の校名案について検討を行いました。

また、当初検討予定であった「両小学校の跡活用」については、札幌市内部での検討が続いており、議題として見送られました。

**地域の皆さまから
寄せられた意見（報告）**

7 月に開催した第 12 回芸術の森部会以降に地域の皆さまから寄せられたご意見について、事務局から 2 件の報告がありました。

- 常盤小学校の校名・100 年の歴史を残してほしい。常盤小学校は 10 年 20 年でなく、100 年の歴史がある学校。これまで学校に多くの協力をしてきた同窓会も校名検討の場に入れてほしい。
- 終戦後の大変な時期から、大人も子どもも地域一丸となって血と汗を流し、学校づくりに助力してきた。（例：豊羽鉱山から体育館を移設、岩石園や野草園を保護者が整備、学校林の運営やその利益による愛の鐘・ホタルの養殖池の寄与、等々）
- 本心としては校名を残してほしい。昔の方々の想いや蓄積されたものには重いものがある。しかし、この地域には最近来た人も多く、その方々にもそれぞれの想いがある。地域の一人として、新設小は今と同じく、明るいシンボルとなる学校になってほしい。その時に、それぞれの想いでいがみ合っても調子が悪い。
- 地域と学校が一体となって作ってきた学校。校名が変われば 100 年の歴史がなくなってしまう。歴史を引き継ぐことは簡単なことであり、両校の歴史をなくすのは楽な判断をしているように感じる。常盤小の校名・歴史をなくすことには反対である。

（平成 30 年 10 月 24 日 常盤小学校同窓会 面談）

- 新設校は常盤中学校横に建設されることで間違いないか。また、小中一貫校となるのか。
- 児童会館は二条小学校（中央区にある各施設と複合化している小学校）と同じ設計になるのか。

（平成 30 年 7 月 25 日 電話）

（事務局回答）

新設校は常盤中学校横の広場に建設されます。

小中一貫校については、部会からご要望をいただいている一方、札幌市では小中一貫教育の在り方を検討している状況であり、今年度からは、常盤中・常盤小・石山東小の 3 校で、小中一貫教育のモデル研究校に指定されています。

また、設計の詳細は芸術の森部会ニュース第 11 号をご覧ください。

校名案の公募結果について（報告）

校名案の公募結果について事務局から報告がありました。

■ 公募結果概要

公募期間：平成 30 年 8 月 24 日～9 月 28 日

応募数：425 件（児童 269 件、その他 156 件）

校名案：147 案（読み方が同じものは集約）

■ 校名案一覧

応募数	校名案
171	芸術の森（げいじゅつのもり、げいじゅつの森、芸じゅつの森、共術の森、げいじつのもり、げいえじゅつの森）
26	常盤（ときわ）
9	あゆみの丘（あゆみのおか）
8	芸森（げい森、げいもり）
7	森林、空沼（そらぬま）
6	ときわの森（ときわのもり）、常盤東（ときわひがし）
4	アートの丘（アートのおか）、げいじゅつ、常山（とき山、ときやま）、常盤芸術の森（常盤芸じゅつの森、ときわげいじゅつの森）、ともだち（友だち）、みんななかよし（みんな、なかよし）
3	アートパーク、石山常盤（石山ときわ、いしやまとときわ）、芸術の森青空（げいじゅつの森あお空、げいじつのもり青空）、自然、ときわいしやまひがし、緑の丘
2	青空、芸術の森の（芸じゅつの森の）、芸術の森未来（芸術の森みらい）、自然の森、常東、スーパー、スマイル、滝の森（滝乃森）、東大、常盤芸森（ときわ芸森）、ときわの丘、なかよし、緑、南の森、みんなの、森の

1	<p>ArtParkJrSchool、朝森、あゆみの、あゆみの森、ありの森、いこう、いしもりときわ、石山ときわ自然、石山東常盤混合、美しくの杜、エリート、かわせみ、きの、希望の丘、きょういく、きらきら、芸術の泉、げいづつときわ、芸術の林、芸術の林青空、げいじゅつの森えがお、げいじゅつの森おか、芸術の森自然、芸術の森森林、芸術の森みどり、芸術の森黎明、芸森敬、芸森新生、芸森村、校庭、光森、こくわ、札幌、札幌芸術の森、思遺、自然大空、自然の森の、しみずめ、しもり、しんじ、新生、新世紀、新生げい森、すずらんの森（丘）、草原、そよかぜ、たのしい、東盤、常石、ときは東天才、常森、ときわ青空、ときわ石山、ときわいしやまひがしげいじゅつのもり、ときわえがお、常盤芸術、ときわげいじゅつの、ときわ栞、ときわ自然、常盤高台、常盤南東、ときわ西、ときわの、常盤の森の中、常盤橋、ときわハリケーン、常盤緑、ときわみどり山、ときわみなみいしやまひがしげいじゅつのもり、ときわみらい、ときわライラック、とりのおか、とわの守、なかよく、南端、にじあおぞら、熱血指導、はしぶとがらす、林、ハリケーン、ハリケーンアートパーク、盤石の森、東とときわ、光の森、ひだまりんず、ぽかぽか、真駒内南、町の、マヨラー、みずならの森、緑虹、緑野、みどりの森、緑の森の、緑湖、みどり山、南、南区芸術の森、未来の英雄、みんなえがおの、森、森地、森の萌野、森山、山森、立春、緑星、緑地、緑遊、わくわくうきうき</p>
---	--

- ※ カッコ内は読み方が同じ校名案の全表記です。
- ※ 校名案は応募いただいたままの表記で記載をしています。
- ※ 応募数の同じ校名案は、五十音順で記載しています。
- ※ 個人名を使用した校名案は、個人情報保護の観点から掲載しておりません。
- ※ 紙面の都合により、個別の理由については記載を省略しております。

～たくさんのご応募、本当にありがとうございました～

皆さまのご協力のおかげで425件もの応募が集まりました。応募くださった皆さま、公募用紙の配架・回収にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

校名案の検討スケジュールについて

事務局から、校名案の決定に至るスケジュールについて、以下の提案があり、部会で承認されました。

- 第13回部会（今回）
 - 各委員が公募された中から校名案を推薦
 - 意見交換を行い、候補として10案以下に絞り込み
- 第14回部会（2月頃）
 - 第13回部会に引き続き検討を行い、校名案を最終決定

校名検討について

各委員から、2案程度ずつ校名案を推薦した後、各案や新設小学校への想い、校名の考え方などについて、検討を行いました。

推薦案は次ページへ➡

校名案	推薦理由
あゆみの	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが未来に向かって歩む姿をイメージさせる。
あゆみの丘	<ul style="list-style-type: none"> 常盤小と石山東小の歩みを一緒に新設校へ持っていき、新たな「あゆみ」をつくるという願いを込めて。 子どもたちのこれからの成長を表している。 ひらがな表記で書きやすく、覚えやすい。見た目のかわいらしさもある。
あゆみの森	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが歩いていく「あゆみ」と、この地域の森林の多さを合わせている。
石山常盤	<ul style="list-style-type: none"> 常盤小、石山東小双方の名前が入っている。
希望の丘	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが希望をもって新しい学校に通う意味を込めて。
芸術の森	<ul style="list-style-type: none"> 地域に浸透しやすい馴染みある名前。 芸術に触れ、子どもたちの感性が豊かに育っていく願いを込めて。 音楽祭など、芸術の森地区の子どもたちを中心にさまざまな行事がある。 道内、市内でも有名な場所であり覚えてもらいやすく、親しまれやすい。 子どもたちからの応募が一番多い（児童からの応募が98件）。 校名を聞いたときに、芸術の森への遠足や、さまざまな思い出が浮かぶ。 学校活動や地域行事でも多々活用しており、新設小にふさわしい。 まさしくこの地区の名。名前も格調高く、新設小にふさわしい。 芸術の森地区が発足し、24年になる。PMFなど誇るべきイベントもあり、芸術の森という名前はもう馴染んでいる。 未来を託す、子どもたちが学ぶ学校としてふさわしい校名である。 芸術の森や市立大もあり、まち全体を高めていける要素となる。
芸術の森みらい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが未来に向かうイメージ。
芸術の森黎明	<ul style="list-style-type: none"> これから新たにつくっていく「黎明」という言葉がよい。
空沼	<ul style="list-style-type: none"> 常盤中学校の校歌の中にも記載があり、芸術の森地区のシンボルとなる山。 この地区は空沼岳から注ぐ真駒内川に沿ってできた地域。
常盤	<ul style="list-style-type: none"> 思いのある方々もあり、応募も2番目に多かったため。
ときわの森	<ul style="list-style-type: none"> 向かいに常盤中学校がある。 長い視点で見たとき、地域名である「ときわ」が入っても良いと思う。 周囲を常緑樹、森に囲まれている。濁点もなく、響きもいい。
常盤東	<ul style="list-style-type: none"> 地名がわかりやすく、常盤小と石山東小の両校を兼ね備えた校名。
みんななかよし	<ul style="list-style-type: none"> 常盤小、石山東小から来た子たちが1つになり、学校全体が仲よくなってほしい。 小学校が目指すものとして一番大事なことであり、日本でまだない校名。

◆委員から寄せられた意見など

- 子どもたちや、地域の方からこれだけの応募をいただき、新しい小学校に関して、皆さん興味を持って考えてくれていることに感謝。子どもたちも両校のことを考えてくれており、大変喜ばしい。
- 地域にとって大事な校名となる。性急に決めることなく、丁寧に検討していきたいと思う。
- この部会として、子どもたちのために、この先ずっと先まで残っていく校名について本当に真剣に考えていきたい。
- 校名を検討する際には、様々な想いや理由などの要素を盛り込む。そうすることで、新しい学校の形がはっきりと見えてくる。教育目標や校歌などにつながる要素が出てくると思う。
- 「芸術の森」は子どもから98票もの応募があった。これを尊重する必要がある。これだけの「子ども」が応募してきたことは大きい。
- 常盤小同窓会の気持ちはよくわかる。一方で、石山東小も学校がなくなるのは非常に寂しい。石山東小校区では、統合の話が出た当初、常盤に吸収されるという風潮があった。そうではなくて、平等な統合だと周りに伝えてきた。新たな校名は「常盤」を外してほしいと思う。
- 歴史があるから、「常盤」という校名を受け継ぐという考えでなく、新しい学校に「常盤」という校名がふさわしい、という理由が必要である。
- 「芸術の森」への応募がこれだけあることは、地域住民の総意であると思う。その他にも、芸術の森に関連した校名が全体の6割近い。
- 昔、常盤の住所を芸術の森へ変える動きもあった。やはり「芸術の森」は地域にとって違和感のない名前だと思う。
- 「あゆみ」という学校名も良いと思う。一方で、校名を聞いた際に、どこにある小学校かはっきりしないかもしれない。
- 子どもからの応募で「新しい学校として、みんなと一緒に力を合わせて歩んでいきたい」という、とても心強い意見があり共感した。「あゆみ」という単語を使用したい。
- 「あゆみの丘」は不動産会社による分譲住宅地の名称である。「あゆみ」という言葉は良いが、そのまま使用するのには疑問がある。
- 「芸術の森」は小学生には難しい漢字もある。「あゆみ」など、もう少しやわらかい印象の校名でも良いと思う。
- 今まであまり「空沼」という意識はなかったが、この地域に古くから受け継がれている名称だと思う。

- もちろん、常盤の先人たちへの想いや感謝は大きくある。一方で、新しい小学校のスタート台に立つ子どもたちのことを思うと、「常盤」も「石山東」も名前として残さないことが必要だと思う。
- 両方の小学校にとって、片方が吸収されたというイメージは払拭し、新しい学校ができたんだ、と示すためには、「石山」という名前も「常盤」という名前も使用せず、新しい名称がふさわしいと思う。
- 常盤という名前への想いは理解できる。昔「土場」という地名だった頃から開墾・開拓を重ね、今の「常盤」まで発展してきた。世代を三代、四代と重ねるうちに地名や呼称も変化してきた。新たな未来を切り開く常盤をつくっていききたい。そのためには子どもたちが望む校名を、と思う。諸先輩方、先人に大英断をお願いしたい。

決定事項

第13回芸術の森部会では以下の内容を決定しました。

応募の数だけでなく、新しい学校への想いや子どもたちのことを考えて校名を検討する。

両小学校にとって平等な新設校として開校できるよう、「常盤」や「石山」を使用せず、新しい校名とする。

上記を踏まえ、新設校の校名案候補を以下4案とする。

- あゆみの小学校
- あゆみの森小学校
- 芸術の森小学校
- 空沼小学校

次回、第14回部会で新設校の校名案を最終決定する。

第14回芸術の森部会について

第14回の芸術の森部会は、平成31年2月ごろの開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837 / E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載します。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>